

10/13(土)・15(月) 菊池秋まつり

菊池秋まつりが市民広場をメイン会場にあり、たくさんの家族連れや観光客などで賑わいました。

13日には、上町御所通りの能場で、国重要無形民俗文化財に指定されている「御松離子御能（おんまつばやしおのう）」が奉納されました。地元の「御松離子御能保存会（西岡史郎会長）」が、毎年この日に合わせて奉納しているものです。

菊池一族が南朝方の懐良親王の慰労のために開いた宴で披露された舞が起源で、能場の向かいにあるムクの大木「將軍木」を親王に見立てて奉納されました。太鼓・大鼓（おおつづみ）の離子と地方に合わせ披露された幽玄な舞に、詰め掛けた観客は魅了されました。

また、仕舞や狂言も披露され、六番あった狂言のうち三番には、地元の小・中・高校生も指導を受けた成果の発表の場として出演しました。

15日の午前には、菊池氏発祥の地、深川の頓宮までの御神幸がありました。神幸行列は、御神馬や御神輿、懐良親王御輿などに続き、中世の衣装を身にまとった福村市長や菊池千本槍隊などが、さながら中世絵巻のように続き、化粧をしたお稚児さんや就学前の子どもたちもハッピーを着てお供しました。

午後には、地域や団体から参加した17グループの約1500人が参加して「通し物」がありました。商店街を北まわりと南まわりの二手に分かれて練り歩き、神輿や踊りなどのパフォーマンスが次々と披露され、沿道からは盛んな喝采と声援が送られていました。



上町御所通りの能場で奉納された狂言



深川付近を練り歩く神幸行列



菊池一族24代による掛け声で「いざ出陣！」



御所通りを練り歩く通し物



御神馬で練り歩く一行

10/15(月)・16日(火)

花房小と隈府小の児童たちがアジア・アフリカ支援米を刈り取り

花房小学校と隈府小学校の児童たちが、「アジア・アフリカの飢餓で苦しんでいる人たちに少しでも手が差し延べられたら」と、支援米を送るため、それぞれにこれまで育ててきた稲の刈り取りをしました。

「食とみどり、水を守る菊池の会（立花富浩会長）」が毎年続けているもので、15日に花房小学校の全校児童101人が、学校近くの10アールの田んぼで、黄色く実った稲をひとつひとつ丁寧に刈り取りました。参加した児童たちは「お米と一緒にこの気持ちも届けばうれしいです。そして、私たちも給食などを残さずに食べ物を大切にしていきたいです」などと話してくれました。

16日にも同じく隈府小学校近くの田んぼで刈り取りがあり、2校で収穫された合計約700kgの米は、来年2月に国連を通じてカンボジアに送られます。



学校近くの田んぼで支援米の刈り取りをする花房小学校の児童たち

10/7(日) 第9回熊本県畜産まつり

合志市にある熊本県農業公園（カントリーパーク）で畜産まつりがあり、熊本県内から約200頭が出品され、各部に分かれ審査が行われました。

菊池市からも45頭が出品され、乳用牛第2部（12カ月以上14カ月未満）で石本幸一さん、第3部（14カ月以上16カ月未満）で荒木武信さん、第9部（3歳ジュニア）で梁池健次郎さん、種馬第3部で西田裕二さん、飼料作物3部（グラス）で中山英俊さんが、それぞれ名誉賞首席を受賞しました。



第2部 NEW ウェーブ IP セブテンパーアレス ET（石本幸一さん）



第3部 モーモツチストーマティツククレイタス（荒木武信さん）



第9部 バイエジョーダンウッドバイン（梁池健次郎さん）

また、11月12日（月）・13日（火）に静岡県御殿場市で開催される「第7回全日本ブラックアンドホワイトショー」に、熊本県代表として石本幸一さんと梁池健次郎さん、第10部名誉賞2席受賞の森浩一郎さんが出品されます。ご健闘とご活躍をお祈りします。

現在酪農家は、乳価の低迷に加えて飼料の高騰が追い打ちをかけ、大変厳しい状況にあります。市民の皆さんの牛乳消費拡大へのご協力をお願いします。

10/8(月) 菊池雲上太鼓保存会と田中裕一さんがきくちの里の入所者にエール

菊池雲上太鼓保存会のメンバー7人と菊池高校2年生の田中裕一さんが、介護老人保健施設リハビリセンターきくちの里（横田輝雄理事長）を訪れ、太鼓と三味線の演奏で入所者を励ました。

同施設に入所している田中さんのお父さんをはじめとする入所者に、早く元気になってほしいとの願いで実現したものです。玄関前に集まった入所者を前に、温かいメッセージを交えた演奏があり、中には涙する人もありました。

津軽三味線奏者の高崎裕士さんに弟子入りしている田中さんの夢は、三味線奏者になること。田中さんは「皆さんが1日でも早く良くなってくれるとうれしいです」と話されました。



入所者を前に津軽三味線の演奏を披露する田中さん

10/11(木) 「全国地域安全運動」の一環で泗水橋の狛犬が防犯をPR



狛犬に防犯の垂れ幕をかける菊池警察署の署員と高校生

菊池市泗水町を流れる合志川にかかる国道387号の泗水橋に、防犯を呼びかける垂れ幕が設置されました。「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに、10月11日から20日までの10日間行われた「全国地域安全運動」の一環として、菊池警察署が主体となって行われた防犯活動です。菊池警察署の署員8人、菊池安全安心パトロール隊の隊員2人、通学で毎日この道を通っている菊池農業高校生7人が参加しました。

近くに「孔子公園」があることから、この橋には中国・山東省泗水県で作られ設置された狛犬4体が座っています。それに署員と高校生が「全国地域安全運動実施中」と書かれた垂れ幕をかけました。設置後は通学途中の高校生にチラシなどを配りながら、防犯を呼びかけました。垂れ幕は期間中の10月20日まで設置され、横を通るドライバーや歩行者に防犯を呼びかけました。